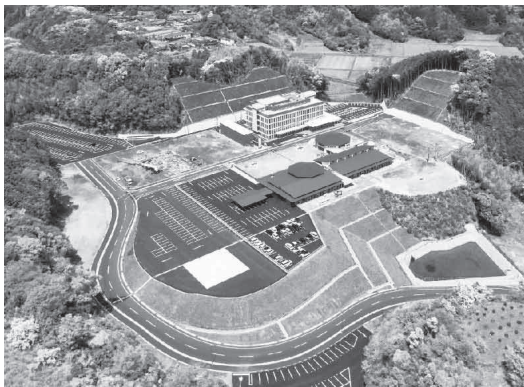


いう特殊性を加味して、施工時間や通行車両の調整等、しっかり対策を行って頂くよう要請していく。



名誉市民の顕彰について

問 名誉市民の経緯と元豊ノ島関の断髪式、豊ノ島杯について問う。

答 宿毛市名誉市民の称号は、広く社会文化、産業の交流等に卓越した功績があった者に對し、その功績をたたえ、もって市民敬愛の対象として顕彰することを目的としている。元豊ノ島関で現井筒親方の梶

原大樹氏とソプラニスタとして世界的に有名な岡本知高氏に、宿毛市新庁舎落成記念式典にて授与式を行った。断髪式では、元大関琴奨菊との取組や岡本知高氏による国歌独唱が行われ、市長として挨拶をさせていただき、一番ばさみを入れさせていただいた。400人の中には、芸能界、政財界の著名な方々も多く、人望の厚さを実感した。



三木 健正 議員

キッチンカー等導入支援事業費補助金について

問 補助金の申請状況を問う。

答 申請及び決定が4件となっており、交付決定額が予算の上限に達している。

問 本事業に対して一定の反響があったと判断されるが、今後予算追加を図り補助事業を延長する考えやキッチンカーの活用機会の創出等、今後の支援について問う。

答 受付終了後もキッチンカーを検討している事業者からの問い合わせがあり、同様の問い合わせがさらに増加した場合は、事業者の活力量を押し進めるためにも積極的に追加支援を検討していく。また、新庁舎や高知西南中核工業団地、今年度整備予定の道の駅すくもサニーサイドパークなどでの利用促進に向け、関係機関と連携し、状況に応じた側面的な支援を積極的に図っていく。

ポストコロナを見据えた市内事業者支援について

問 市内業者への支援等について今後の方向性を問う。

答 事業継続を主眼とした直

接的な事業者支援とポストコロナを見据えた支援策の両面から政策を実施していきたい。令和4年6月1日に、全国市長会で決議されたポストコロナを見据えた地域経済、雇用対策の充実に関する決議に賛同し、国に対して事業所支援の充実などを要望した。今後も様々な場面を通じて国や県へ強く要望していく。

地方創生テレワーク交付金活用による企業誘致と移住促進について

問 デジタル田園都市国家構想推進交付金、地方創生テレワークタイプ交付金活用に向けた取組について問う。

答 遊休施設の活用や企業誘致を目的としてサテライトオフィスなどの検討を行ってきた経緯はあるが、本交付金の活用には至っていない状況である。

問 テレワーク交付金の活用における課題について問う。

答 地方創生テレワーク交付金は、地方公共団体がサテラ

イトオフィス等を整備するサテライトオフィス等整備事業、民間施設の開設支援を行うサテライトオフィス等開設支援事業、既存施設への設備等の導入支援などを行うサテライトオフィス等活用促進事業、区域外の企業進出を支援する進出支援事業があり、この4事業のうち、どの事業を活用するのか。市外から人呼び込むために、どういった事業を行う必要があるのか、そのためのニーズの確認が一番の課題であると感じている。

問 今後の交付金活用に向けた取組の方向性を問う。

答 地方公共団体の負担も少なく有利な事業であり、先行している自治体の動向や施設の利用状況等も注視し、本市に合った事業の実施方法を検討していく。